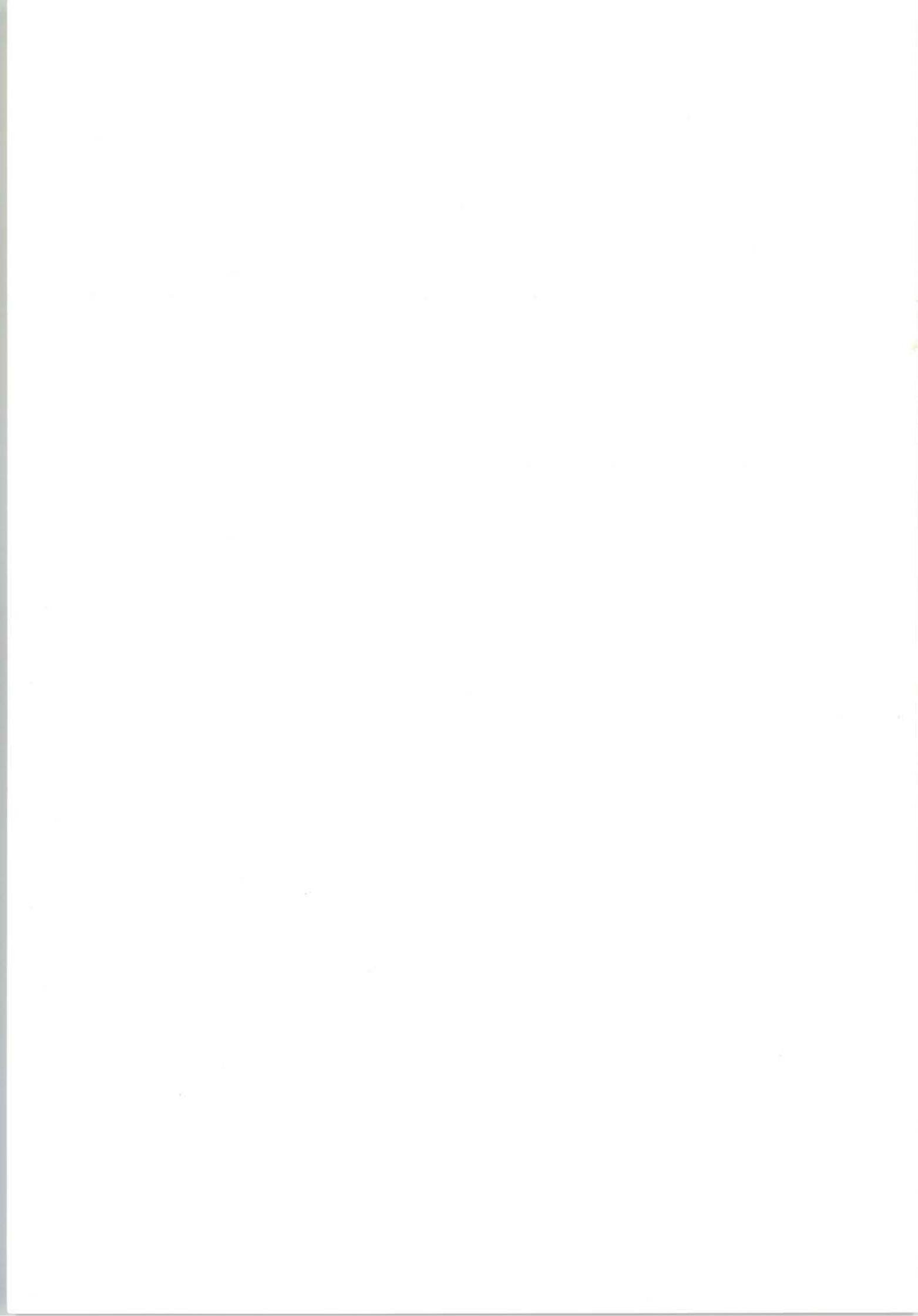




基本構想



21世紀を先導するまち、武蔵野

—平和で、自由で、豊かな地域社会の実現を目指して—

「平和・自由・豊かさ」は、人類が求めて止まない永遠の価値である。

日本は第二次世界大戦後、国民の営々たる努力に支えられながら、国際化・情報化進展の流れに乗り、今日の経済大国へと発展してきた。武蔵野市も、このような時代の流れの中で、市民の豊富な担税力や地勢的条件にも恵まれて、繁栄を享受している。

しかし、世界全体を見回すと、その繁栄の陰には、第三世界の人口爆発や地球規模の環境破壊、宗教・民族紛争、難民の流出など様々な不安定要素がある。また国内においては、人口・富・情報の集中する大都市が質・量ともに膨脹する一方、地方都市は過疎化が進み活力が失われつつある。

「平和・自由・豊かさ」は、世界のすべての人々が享受する権利を有している。日本は、国際間の相互依存によって繁栄していることを自覚し、世界の国々と協調し、援助を必要としている国々を支援していく責務を負っている。

また、武蔵野市は、農業・漁業・林業・工業など生産の町によって支えられている。都市に集中する人・富・情報を地方に還流し、国土の均衡ある発展を目指すことが、ますます必要となっている。

一方、周囲に目を転ざると、高齢化の進行、交通問題、ゴミ対策、子どもの生育、緑の減少など、取り組むべき多くの課題があり、私たちのライフスタイルが問い直されている。

人と自然にやさしいまちの実現に努め、これを次代に引き継がなくてはならない。

武蔵野市と武蔵野市民は、21世紀を展望し、その役割を自覚して、この基本構想を策定する。

